

令和3年度 SOP 研修会アンケート集計結果報告

1. 研修内容

開催日時 : 令和3年10月13日(木)
開催方法 : Zoomミーティングによる「オンライン研修」
受講者 : 13名(男性:8名、女性:5名)
(参考: R1年14名、H30年18名、H29年20名、H28年12名、H27年11名)
アンケート回答数 : 13件(回答率:100%)
プログラム : 表1.に示す

表1. プログラム

時 間	内 容
9:30~10:00	受 付 (この時間にZoomミーティングに入室してください)
10:00~10:05	受講に当たっての注意事項等
10:05~10:10	開講挨拶 一般社団法人愛知県環境測定分析協会 会 長 大野 哲 一般社団法人日本環境測定分析協会 中部支部 支部長 大野 哲
10:10~11:50	講 義:「SOPとは」 講 師:株式会社ユニケミー 取締役 中安 史隆
11:50~13:00	昼食休憩
13:00~13:05	演習に当たっての注意事項等
13:05~15:00	演 習: SOPのグループ作成演習 (SSの分析)
15:00~15:20	休 憩
15:20~16:30	発 表: 作成したSOPのグループ発表 ・受講者間での質疑、意見交換 ・講師質問等
16:30~16:50	講 師 講 評
16:50~17:00	閉 会 (修了証は後日の交付となります)

備考: グループ演習は、3名/班×3班、4名/班×1班の編成としました。

2. アンケート調査結果

(1) アンケート回収率

受講者全員からアンケートの提出があった。(回収率：100%)

(2) アンケート結果

質問1「今回の研修内容について、ご意見・感想をお書きください。」

13名の方、全員から意見や感想が寄せられた。すべて「参考になった、有意義であった」という肯定的な意見であった。主な意見は次の通り。

① SOP の理解に役立った・参考になった。

SOP の作成方法及び重要性について理解できた等の意見・感想が多く寄せられた。

- ・ SOP を作るようになった時に何に気を付けるのか、注意すべき点に分かりやすかった。「企業に提出した」のようなエピソードもあり、自身が作成する時には注意しようと感じた。
- ・ あらためて SOP の重要性を認識できました。
- ・ SOP 作成に関して、弊社では PDCA の A (改善) が不十分であると感じた。実際に運用して内容に不明瞭な点がないかは分析作業担当者に確認しているが、ばらつきがないかどうかの確認が十分にできていないと感じた。このばらつきが分析結果の精度や信頼性に関わると思うため、今後その点を重視して行く必要がある。
- ・ SOP についてあまり知らなかったため、理解が深まりました。作業を標準化することは、ばらつきを抑えるために非常に有効な手法だと感じました。実際に SOP を作成する演習形式となっていることは、講義を聞くだけよりも理解が深まり良いと思いました。
- ・ 作業者にかかわらず一定の品質を保つための方法として SOP の作成手法と守るべきポイントを学ぶことができた。
- ・ 作業を行う際に数字で指示することで作業者による操作のばらつきが減り、均一な操作を担保できることがよく分かった。
- ・ 今まで過去に作られた手順書を参考に自分で新しく作っていましたが、今回の講習で注意するポイントなど、見様見真似で作っていたのは分からないようなことを改めて勉強することができました。ちょうど業務で手順書の見直しと作成を行っているので、今回学んだことを参考にして、分かりやすい手順書を作っていきます。
- ・ 分析に特化した内容で私自身難しかったのですが、SOP の重要性は理解できました。

② 研修の構成・進め方について

演習の実施、他社の方との意見交換についての意見が多く寄せられた。

- ・ 一般細菌などの SOP の例は示して頂きましたが、SS の SOP の例も演習後に示して下さると、より参考になると感じました。
- ・ 昨年参加した弊社社員から、環境水でない試料の手順が勉強になったと聞いていましたが、今回も各社の視点が様々で勉強になりました。
- ・ 他社様の SOP 様式の一例を見ることができたため、良い点は弊社の SOP にも取り入れていきたい。
- ・ 現在行っている作成方法について自信になった。
- ・ 記入法の新しいアイデアにもなった。
- ・ 他社の分析担当と直接やりとりする機会が非常に勉強になった。
- ・ SOP 作成において、他社の担当者がどういうところに着目しているかという、新しい気づきがあった。
- ・ SOP は、仕事の身近にあります。1 から作成する機会に恵まれることがなかったため、非常に勉強になりました。
- ・ 他社の人と SS の SOP を作成する演習は、SOP を作成する上でとても参考になりました。
- ・ なかなか他社の人と SOP について話す機会はないので、どの点に注意して作成しているのかがわかり良かったです。
- ・ 自社以外の SOP を拝見する機会がなかったので参考になった。
- ・ グループで意見を出し合い作成する演習が新鮮で刺激になりました。
- ・ 実際に SS の手順書を作成して、発表し合うことでどの様に表記するとわかりやすいかを実感できた。

③その他のご意見、ご要望

- ・弊社が請け負う分析試料は環境水がほとんどです。
- ・SOP 作成を参加者同士で実習形式で実施でき、非常に楽しく参加できました。
- ・Zoom のブレイクアウトルームやチャットでのファイル送信など新しい機能にも触れられ、こちらも勉強になりました。
- ・SOP 作成の講習会は珍しく、新鮮であった。

質問2「来年度も本研修会を開催する予定です。ご要望がありましたらお書きください。」

質問2.1)「研修時間について」

- (1)「今回と同様で良い」11名
 - ・2時間のSOP作成時間は短く感じましたが、時間が区切られているからこそ集中できたと思います。
- (2)「時間を延長する」1名
 - ・講義の時間がもう少し長くてもいいかなと感じました。
- (3)「時間を短縮する」1名
 - ・丸々1日使用するため、参加者の業務に影響が出やすいと感じた。

質問2.2)「その他」

- ・Zoomの基本的な使い方を熟知してない方が多く（画面共有など）、事前に簡単なレクチャーがあると助かります。
- ・資料にSOPの具体例があったほうが良いと思った。
- ・コロナあけたら従来通りの集合形式でお願いしたいです。オンラインで初対面同士だと意思疎通が難しいと感じました。
- ・過不足のない、とてもいい研修だったと思い、感謝しております。
- ・分析トラブルの起こりやすいSOPを一例として挙げていただけたらすると、よりSOPの作成能力を向上することができるのではないかと思います。
- ・Zoomによる講習は現地に行く交通費や、参加者の時間的負担を大幅に削減できるためコロナウイルス終息後も継続してほしいと思う。弊社の場合、研修会への参加は帰宅時間が業務時間を超えても残業とまらないためZoomの開催はありがたい。

質問3「その他、意見、要望等（例えば希望する講義の内容など）」

- ・油分を含む試料の手順についてアセトンで洗浄した後にヘキサンで洗浄する方法などの工夫した点を、聞くあるいは読む機会があればと思います。と言いますのは、JISにしたがってという文言がしばりとなる場面があります。せっかくの改善点を活用できるよう、事例情報を共有できればと思いました。
- ・Zoomの使用が初めてだったが、チャットや画面共有等の説明をその都度していただけたため、特に問題なく研修会に参加することができた。
- ・この講習会はオンラインよりも現地方式の方がよいと思った。
- ・今回のように、演習やディスカッション中心が良いかと思います。
- ・公定法やJIS規格の改定に関する説明について。
- ・SSについてのトラブルとなった事例（沈殿している砂を含めるか否かの件）を挙げていただいたが、類似する事例とその対処方法などを講義していただきたい。
- ・グループワークでSOPを作成して、それぞれ講評してもらいましたが、最後に一例として、事務局側が作成したSOPの発表などがあればより分かりやすかったと思います。

以上

令和3年度 SOP研修会アンケート

令和3年10月 日

質問事項		回答
問1	今回の研修内容について、ご意見・感想をお書きください。	
問2	来年度も本研修会を開催する予定です。ご要望がありましたらお書きください。	1.研修時間について このセルをクリックして選択肢から選んでください。 具体的なお意見があれば以下にご記入ください
		2.その他
問3	その他、意見、要望等（例えば希望する講義の内容など）	

ご協力ありがとうございました。10月20日(水)までにメールに添付して愛環協事務局あてお送りください。